部活動・同好会

部活動

運動系	本郷	射水
剣道	本郷	
弓道	本郷	
サッカー	本郷	射水
柔道	本郷	射水
水泳	本郷	
漕艇(カッター)		射水
卓球	本郷	
テニス	本郷	射水
男子バスケットボール	本郷	射水
女子バスケットボール		射水
バドミントン	本郷	射水
男子バレーボール	本郷	射水
女子バレーボール		射水
ハンドボール	本郷	
野球	本郷	射水
ヨット		射水
ラグビーフットボール	本郷	射水
陸上	本郷	射水

文化系	本郷	射水
囲碁・将棋	本郷	
軽音楽	本郷	
写真	本郷	
茶道	本郷	
新聞		射水
吹奏楽	本郷	射水
デジタルメディア創作		射水
鉄道	本郷	
ピアノ	本郷	
美術	本郷	
メカテック	本郷	
メカトロ技術研究		射水

同好会

運動系	本郷	射水
剣道		射水
水泳		射水
卓球		射水
女子バレーボール	本郷	
フリースタイルダンス		射水

文化系	本郷	射水
アントレプレナー研究		射水
ESS		射水
機関学		射水
軽音楽		射水
弦楽		射水
茶道		射水
写真		射水
書道		射水
知能プログラミング研究会	本郷	
日本舞踊		射水
美術		射水
文芸		射水

サッカー

柔道

バレーボール

鉄道

バドミントン

陸上

弓道

剣道

ラグビー

ハンドボール

水泳

漕艇(カッター)

フリースタイルダンス

ヨット

全国高専体育大会

校内球技大会

茶道

吹奏楽

全国高専
ロボットコンテスト

全国高専英語
プレゼンテーションコンテスト

学校行事

4月	入学式 始業式 前学期授業開始 新入生学力テスト 新入生オリエンテーション 若潮丸オリエンテーション（射水） 定期健康診断 交通安全講習会（本郷） 保護者による授業参観
5月	交通安全講習会（射水） 新入生合宿研修 校内球技大会（本郷） 環境美化活動（本郷） 海浜清掃（射水）
6月	前学期中間試験 熱中症対策講座（射水） 専攻科入試 統合10周年記念特別講演会 北陸地区高専体育大会（6・7月）
7月	カッターレース大会（射水） 前学期末試験（7・8月）
8月	終業式 夏季休業（8・9月） インターンシップ（8・9月） 夏季オープンキャンパス 全国高専体育大会
9月	卒業式（商船学科） 保護者懇談会 県外工場見学（本郷・4年生） 県内工場見学（本郷・3年生） 校外研修（本郷・2年生）
10月	後学期授業開始 合同球技大会 消防訓練 県外工場・企業見学（射水・4年生） 高専プログラミングコンテスト（全国大会） 高専ロボットコンテスト（東海北陸地区大会） 環境美化活動（本郷）
11月	県内企業見学（射水・3年生） 遠足（射水・2年生） 専攻科入試（後期日程） 性教育に関する講演会（射水） 高専祭（本郷） キャリアガイダンス（射水） 健康に関する講演会（射水） 秋季オープンキャンパス 高専ロボットコンテスト（全国大会） 後学期中間試験（11・12月）
12月	学生会長選挙（本郷） 冬季休業（12・1月）
1月	学習到達度試験（3年生） 推薦入試 学生会長選挙（射水） 特別研究発表会（1・2月） 英語プレゼンテーションコンテスト（全国大会）
2月	学年末試験 学力入試 卒業研究発表会 卒業生を送る会（射水） 専攻科課程修了式（商船学科） 終業式 春季休業（2・3月）
3月	卒業式（商船学科を除く）

※変更となる場合もあります

役職者一覧

校長	賞雅寛而
副校長	柴田博司(電気)
副校長	水谷淳之介(商船)
副校長(キャンパス連携担当)	高熊哲也(一般本郷)
教務主事・校長補佐	高田英治(電気)
教務主事・校長補佐	塚田章(電子)
学生主事・校長補佐	佐瀬直樹(機械)
学生主事・校長補佐	梅伸司(商船)
寮務主事・校長補佐	日比端洋(一般本郷)
寮務主事・校長補佐	楽山進(一般射水)
専攻科長・校長補佐	阿蘇司(電子)
校長補佐(入試広報センター長)	横田数弘(一般射水)
校長補佐(海外戦略担当)	青山晶子(一般本郷)
校長補佐(教育体制整備担当)	西敏行(電気)

機械システム工学科長	高橋勝彦(機械)
電気制御システム工学科長	浦風和裕(電気)
物質化学工学科長	津森展子(物質)
電子情報工学科長	小熊博(電子)
国際ビジネス学科長	松原義弘(国際)
商船学科長	山本桂一郎(商船)
商船学科航海コース主任	笹谷敬二(商船)
商船学科機関コース主任	保前友高(商船)
一般教養科長	高熊哲也(一般本郷)
一般教養科主任	森田康文(一般本郷)
一般教養科主任	寺﨑由紀子(一般射水)
ソリューションセンター長	袋布昌幹(物質)
研究高度化推進センター長	井上誠(機械)
国際教育センター長	古山彰一(電子)

図書館情報センター長	椎名徹(電子)
船舶運航センター長	水谷淳之介(商船)
臨海実習場長	中谷俊彦(商船)
練習船若潮丸船長	中松英也(練習船)
学生相談室長	足立繭子(一般本郷)
進学・就職指導室長	河合均(一般射水)
特別支援教育室長	柴田博司(電気)
技術室長	水本巌(電子)
統括技術長/実習工場長	早川幸弘
事務部長	冨田和宏
総務課長	池田裕計
管理課長	村道俊一
学務課長	戸田克己
学生課長	新井浩

【本郷キャンパス】

教務主事補	吉川文恵(機械)	寮務主事補	山本久嗣(センター)
教務主事補	石田文彦(電気)	寮務主事補	西島健一(電気)
教務主事補	篠﨑由紀子(物質)	寮務主事補	山岸正和(物質)
教務主事補	山腰等(一般)	寮務主事補	横山恭子(一般)
学生主事補	浅地豊久(機械)	副寮攻科長	佐藤圭祐(電気)
学生主事補	井澤正樹(電気)	エコデザイン工学専攻担当	豊嶋剛司(機械)
学生主事補	高松さおり(物質)	エコデザイン工学専攻担当	北村拓也(電気)
学生主事補	高越義一(一般)	エコデザイン工学専攻担当	峰本康正(物質)

【射水キャンパス】

教務主事補	秋口俊輔(電子)	寮務主事補	門村英城(電子)
教務主事補	海老原毅(国際)	寮務主事補	岡本勝規(国際)
教務主事補	福留研一(商船)	寮務主事補	大橋千里(一般)
教務主事補	寺﨑由紀子(一般)	寮務主事補	モアナヌ・チャールトンビル(一般)
学生主事補	早勢欣和(電子)	副寮攻科長	保前友高(商船)
学生主事補	塩見浩介(国際)	制御情報システム工学専攻担当	的場隆一(電子)
学生主事補	松村茂実(商船)	国際ビジネス学専攻担当	長谷川博(国際)
学生主事補	山村啓人(一般)	海事システム工学専攻担当	河合雅司(商船)

学生相談室から

「学生相談室」は、学生の皆さんのサポートをするところです。
皆さんが学校生活の中で出会うさまざまな問題・悩みや困りごとについて、相談室員（教員）や専門のカウンセラーが皆さんの話を聞きながら、皆さんにとってよいと思えるような答えを、一緒になって考えるところです。
勉強のこと、クラス・部活動・教員・家族など人間関係のこと、進路のこと…についての悩み、或いは、いらいらする、不安な気持ちがする、憂鬱だ、やる気がでない、疲労感が抜けない、安眠できない、寝起きがすっきりしない、ゲームをやめられない…といった心身及び生活の状態についての悩みなど、ささいなことでも安心してお話ししに来てください。問題を一人で抱え込まずに、ぜひ気軽に相談室を訪ねてほしいと思います。相談内容の秘密は、原則として守られます。
なお、保護者の方の学生に関する相談も受けています。

【本郷キャンパス】
◎相談室員（担当教員）
機械システム工学科　増山圭一　　電気制御システム工学科　古川裕人
物質化学工学科　中島栄次　　一般教養科　森田康文・足立繭子
◎相談を希望される場合の連絡先
TEL 076-493-0533（保健室）
※カウンセラーへの相談は、保健室で予約をしてください。
◎相談室スケジュール
▷相談室員（各学科教員）
時間：月～金曜 15:30 ～ 17:00
場所：月～木曜は各教員の自室、金曜のみ学生相談室
▷カウンセラー
時間：月・木曜 10:00 ～ 17:00
火・水曜 13:00 ～ 17:00
場所：学生相談室（学務課横、学務課から専攻科棟へ向かう途中）

【射水キャンパス】
◎相談室員（担当教員）
電子情報工学科　早勢欣和　　国際ビジネス学科　岡本勝規・宮﨑衣澄
商船学科　福留研一　　一般教養科　大橋千里
◎相談を希望される場合の連絡先
TEL 0766-86-5140（保健室）　メール soudan@nc-toyama.ac.jp
※カウンセラーへの相談は、保健室で予約をしてください。
◎相談室スケジュール
▷相談室員（各学科教員）
時間：月・木曜 15:30 ～ 17:00
場所：学生相談室（保健室の隣）
▷カウンセラー
時間：火・水・金曜 10:00 ～ 17:00
場所：学生相談室（保健室の隣）
備考：試験期間中、長期休業中も事前に連絡をいただければ対応させていただきます。

KOSEN 健康相談室

TEL 0120-502412　24時間年中無休・無料相談受付
（学校名を告げる必要がありますが、匿名で相談できます）

学校への連絡先	【本郷キャンパス】	【射水キャンパス】
代表連絡先	〒939-8630 富山市本郷町13番地 TEL 076-493-5402　FAX 076-492-3859	〒933-0293 射水市海老江練合1番2 TEL 0766-86-5100　FAX 0766-86-5110
欠席・遅刻の連絡	学務課教務担当：TEL 076-493-5405	学生課教務担当：TEL 0766-86-5145
授業料免除・奨学金 課外活動	学務課学生担当：TEL 076-493-3590	学生課学生担当：TEL 0766-86-5135
学生寮関係	学務課学寮担当：TEL 076-493-5499	学生課学寮担当：TEL 0766-86-5133
FAXによる連絡	学務課　：FAX 076-493-5488	学生課　：FAX 0766-86-5130

富山高等専門学校
National Institute of Technology,Toyama College

高専通信 Vol.26 2019/4
TOYAMA KOSEN JOURNAL Vol.26
本郷キャンパス　〒939-8630 富山市本郷町13番地　TEL 076-493-5402
射水キャンパス　〒933-0293 射水市海老江練合1番2　TEL 0766-86-5100
https://www.nc-toyama.ac.jp
富山高等専門学校入試広報センター
平成 31年 4月 3日 発行

TOYAMA 高専通信 KOSEN

Vol.26　2019/4
富山高等専門学校広報誌

国立富山高等専門学校
- 機械システム工学科
- 電気制御システム工学科
- 物質化学工学科
- 電子情報工学科
- 国際ビジネス学科
- 商船学科
- 専攻科エコデザイン工学専攻
- 専攻科制御情報システム工学専攻
- 専攻科国際ビジネス学専攻
- 専攻科海事システム工学専攻

新入生歓迎特別号

目次

2 教員からのメッセージ（本郷キャンパス）
3 賞雅寛而校長あいさつ
4 教員からのメッセージ（射水キャンパス）
5 部活動紹介・学校行事
6 役職者一覧
学生相談室から
学校への連絡先

昭和43年頃の富山工業高専全景

富山工業高専　第1回高専祭
（昭和42年10月7日）

富山商船学校　菲島運漕
（昭和16年6月16日）
（寄贈）旧職員 五十嵐正俊氏

富山商船学校　荒山峠遠足
（昭和16年5月22日）
（寄贈）旧職員 五十嵐正俊氏

本郷キャンパス 新1年生担任からのメッセージ

勉学に励む覚悟を

本郷キャンパス
1年1組担任
河原治

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。みなさんは、高専にどんなイメージを持っているでしょうか？

もしかすると、このあとは受験も無く、楽が出来ると考えている人がいるかもしれません。しかし、私から一言伝えておきたいのは、「高専は技術者を育成する学校である」ということです。専門家として立っていくために必要な知識や技術を学んでいきます。大学と同じ高等教育機関であるため、規定の単位基準をクリアすることが厳しく求められます。決して楽が出来る学校とは思わないで下さい。

もちろん、進級・卒業することが大変だからこそ、本校を卒業することには大きな意味があります。だからこそ、われわれ教職員は胸を張って卒業生を社会に送り出しているのです。高専生は高校生とは違い「学生」と呼ばれます。学生の本分は勉学です。十分に勉学に励む覚悟をして、立派な技術者に成長できるように頑張って下さい。

新入生へ

本郷キャンパス
1年2組担任
宮崎真矢

新入生のみなさん、ようこそ富山高専へ。この学校へ進む決心をしてくれたこと、こうして君たちと出会えたことを、うれしく思います。これから5年間、君たちには本当に色々なことを学んでもらわねばなりません。専門科目や数学がむずかしいのは当たり前です。日本語や英語を普通に読み書きでき、また、世の中の約束事やしくみについても、今ここにいる自分の意味について考えられるようになってもらわないといけません。話を聞きながら字を早く正確に書けること、プリントをなくさない人であること、すぐ使えるようにしておけることも大切です。したいことを後回しにしたり手放したりすることも覚えてもらわねばなりません。人の心を知ること、自分の思いを適切に人に伝える術を知ること、人に頼ること、人を愛することも学んでもらわねばなりません。君たちのそんな諸々の仕事について、君たちの傍らで手助けをするのがわたくしの役目であります。

選択と決断、そして、行動力

本郷キャンパス
1年3組担任
仁木康浩

富山県内の数ある学校の中から富山高専を選択し、自身の将来を見据え専門科目まで決断した皆さんの行動力に感服します。改めて、新入学生の皆さん、ご入学おめでとうございます。高等教育は今までとは違い、教えを乞うだけでなく、自身で探究し勉学に励んで成果を求めなければなりません。その時には、多くの失敗をするかと思いますが、失敗は成功への近道です。必ず将来の種になるので、自身で選択した道を信じて歩み続けてください。

近年では、「人生100年時代」到来といわれており、そのうち高専生活はわずか5年間しかありません。まだ始まったばかりで実感することが難しいと思いますが、小中学校の時を思い返してみてください。あっという間に終わり、こんなにも多くの事を学べてきた！と自信を持って答えることができるでしょうか。1分1秒を無駄にすることなく、充実した高専生活を過ごせるように、日々邁進するように心がけてください。

本郷キャンパス 学生主事・寮務主事からのメッセージ

自主・自律

本郷キャンパス
学生主事
佐瀬直樹

新入生の皆様、入学おめでとうございます。本校での5年間の学生生活で皆さんが大いに成長することを期待しています。また2～5年生の皆さんは、今年度の新たな目標を掲げ、それに向けて自分のやるべきことに邁進してもらえたらと思います。

本校の教育理念の一つは、「自主・自律」です。やるべきことを与えられてきた人にとっては、自分でやるべきことを考えろと言われると思い悩んでしまう人も多いことでしょう。「人の命には限りがあるからこそ、人生は輝く」と言う哲学者がいます。最期に後悔しないためには何をやるべきか、どう生きるべきかが見えてくる。そしてその実現に向けて努力するから、その人の人生はよりよいものになる、というような意味でしょう。しかしこれは若者にとってはあまりにも遠い未来の話で、リアリティがないでしょう。

皆さんの学生生活にもいずれ終わりがきます。皆さんにとって学生時代にしておかなければならないことは何でしょうか。卒業するときにどんな人間になっていたいですか？そんなことを考えてみれば、高専生活での具体的な目標や今やるべきことが少しずつ見えてくるのではないでしょうか。専門知識、技能、教養、部活、精神力、人間力、親友、恋愛・失恋・・・。残された学生生活の期間はそれぞれ違いますが、自分で優先順位を考え、適切な目標を設定して、一日一日を過ごしてもらえたらと思います。そして充実した笑顔で卒業の日を迎えられることを願っています。

新入寮生の皆さんへ

本郷キャンパス
寮務主事
日比端洋

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。合わせて、新入寮生の皆さんは入寮おめでとうございます。これからの学生寮での生活に期待と不安を抱いていることと思います。

仰岳寮は、150名規模の小さな寮です。小規模であるとはいえ、寮生活は集団生活です。自分の思い通りにならないこともたくさんあるでしょうし、週番、風呂掃除、共有スペースの掃除等、日々の生活の中で新入寮生がする仕事も多く、時間の制約もあります。これらの制約の中でも時間をやりくりしながら、勉学の時間を確保してしっかり勉学に励んでください。全寮生が参加するイベントも毎月のように行っています。歓迎会、球技大会、ボランティア活動、予餞会等です。これらのイベントの準備や後片付けも新入寮生の仕事となります。これだけを見ると大変そうな寮生活に見えますが、これらのイベントや日々の生活を通して、寮生ならではの結束力が築かれていきます。

最初は大変だと感じた寮生活も一年もたては、慣れて好きになります。新入寮生一人一人が寮生であることを意識して、まわりの学生としっかりコミュニケーションをとり、有意義な5年間の寮生活を送れるように私たち教職員もサポートします。頑張ってください。

富山高等専門学校 校歌

われら未来へ

片岡 輝 詩
池辺晋一郎 曲

白銀の峰を仰ぎ
胸一杯に大地の息吹を吸いこむ
両腕を翼に空に羽ばたけば
母なる地球が丸い
自在に思いを巡らし
自由に夢を形にする
この学舎でともに手をとり

藍色の海のかなた
波のしぶきに未知なる世界を目指す
嵐に耐えて針路を守れば
暁を星影が招く
自らに省みて行い
自らに恥じなく生きる
この青春をともに悔いなく

遥かなる未来見つめ
広く世界と語らい平和をうたう
真理を極め技を磨けば
吹く風に春の花が香る
たしかなあしどりで進もう
学舎の誇りを胸に
この時代をともに支えて

第1学年副担任
多田和広(1組)
福田知博(2組)
石黒農(3組)
第1学年代表
河原治

専攻科担当
豊嶋剛司
北村拓也
峰本康正

校長あいさつ

チャレンジするカレッジライフ

校長
たかまさ ともじ
賞雅寛而

新入生の皆さん、ご入学誠におめでとうございます。

ここに、新たに皆さんのような多くの志の高い学生を本校に迎え入れられることは、これまで皆さんを支えてこられ、入学を待ち望んでおられたご家族ばかりでなく、私共教職員にとっても大きな喜びです。

我が国は世界に冠たる科学技術立国であり、四面を海に囲まれた海洋国家です。また富山県は、多くの優良企業を有する工業県であり、世界で最も美しい湾の一つである富山湾を有する海洋県です。我が国及び富山の将来を導くために、科学技術・海洋の分野で「イノベーションを創出できる人材、グローバルな世界で活躍できる人材、そして社会に貢献できる人材」を育成し続けていくことは重要な課題です。

富山高等専門学校は、平成21年10月に国立高等専門学校の高度化再編により、富山工業高等専門学校と富山商船高等専門学校が統合して創立され、北陸及び我が国そして世界で活躍する技術者、ビジネスパーソン、海事技術者を育成し、科学技術・海洋に関連する高度な研究を行っている国内有数の高等教育研究機関です。本校における教育・研究は、少子高齢化による産業界の縮小などとともに今後一層激しくなる物流構造変化、環境要因、経済的・社会的変化及び膨大なビッグデータを活用する IoT 技術や深層学習型次世代 AI 技術など、産業構造そのものを変えてしまうような新技術の展開に対応し続けています。

皆さんには、本校におけるこれからの日々において、新たな社会変化に対応できるような知識を習得し、それを実践していただかなければなりません。そのような実践の場すなわち知識を試す、チャレンジする場としては、授業や実験実習だけでなく、クラブ活動やサークル活動が、寮に入る学生には寮の共同生活があります。また、本校は全国でも有数の国際性豊かな学びの場であり、国際感覚を身につけることができる環境を常に提供していますので、皆さんはそのような環境を活用することもできるでしょう。

新入生の皆さんが、本校の恵まれた環境の中で、社会に出てからはなかなかできない経験にチャレンジするカレッジライフを過ごし、幅広く物事を判断できる人間に、そしてどのような社会変化にも対応できる人間に、大きく成長されることを、我々教職員一同は心から願っています。

教務主事、専攻科長からのメッセージ

努力！でも遠慮なく相談を。

本郷キャンパス
教務主事
高田英治

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

入学試験によって、中学校時代の成績が同程度の人たちがクラスメートになりました。ところが、今度はその中で成績が良い人、苦労する人が現れます。成績の良い人がもともと天才だったからではありません。世の中には確かに天才は存在しますが、そうたくさんはいないです。差がつく要因の一つは、努力量の違い、「あきらめない気持ち」の大小です。皆さんの中には本校の学習内容を難しく感じる人もいると思いますが、そんな時もあきらめず、分からなくなったところまで立ち返って勉強してください。アインシュタインは「天才とは努力する凡才だ」と言っています。彼のような明らかな天才でも努力しました。教職員は皆さんの努力をサポートしますので、困ったら遠慮なく相談してください。

さて、本郷キャンパスでは今年度から1年生に混合クラスを導入します。他学科に関連する勉強にも広く興味を持って頂くことを目的とします。また、他学科にも友人を作り、幅広い人間関係を作ってください。皆さんが励まし合いながら努力を継続し、これからの5年間または専攻科進学者は7年間を、有意義なものとされることを祈っております。

柔軟に適応できる力

射水キャンパス
教務主事
塚田章

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。そして、高専を選んでくれてありがとうございます。

世の中では、人工知能、ビッグデータ、ロボット等の技術がものすごい勢いで発展しています。皆さんが働き盛りとなる数十年後の社会では、現在想像もつかない仕事が待っているはずです。そのような時代を生きていくためには、社会の変化に柔軟に適応できる力が必要になってきます。高専は15歳から体験を通して専門を学ぶことを特徴としています。これを言い換えると若いうちから自分で考える力を身に付けることだと私は思います。普通高校では偏差値の高い大学に入るというわかりやすい目標を掲げ、視野を制限された競走馬のように一心不乱に目標を目指します。一方、高専は受験が目標ではありません。学生一人ひとりが広い視野でそれぞれの目標をみつけなくてはなりません。授業や実習はもちろん、社会に巣立つ先輩達の後ろ姿や先生との会話を通して目指すべき道を見つけ、それに向かって様々な経験を積むことで柔軟に適応できる力を育んでください。そして、卒業時に高専を選んだことが正解だったといえるような充実した生活を送ってくれることを期待しています。

学ぶことの意味と意義

専攻科長
阿蘇司

専攻科入学生の皆さん、入学おめでとうございます。専攻科は、たった2年間の教育課程です。2年後に振り返ったとき、充実感を得るためには、入学した今、心の準備、心構えが必要です。将来を模索しながら、人生の基盤となる考え方や経験を積んで欲しいと思います。専攻科生は、本科で優秀な成績を収めた人材が集まっています。少人数教育なので、通常の講義で優秀な成績を収めることは、皆さんにとっては当然なことだと思います。我々教職員は、皆さんに講義で学んだことを活かせる人材となっているのか、特別研究を通じて見極めていきます。特別研究では、教科書には無い新たな課題を取り扱います。課題への挑戦を通じて、講義で学んだことを活かし、物事を多角的にとらえて分析し、その解決や新たな提案をする論理的思考を磨いてくれることを望んでいます。そして、そのためには教職員も支援を惜しみません。大学や企業との共同研究や海外インターンシップなど、社会と連携して学習できる環境を提供します。本科での5年間の上に現在があるように、専攻科2年間の上に皆さんの将来が築かれます。自分の意思を持って、大きく成長してくれるように応援します。

射水キャンパス 新1年生担任からのメッセージ

春はあけぼの

電子情報工学科
1年担任
近藤周吾

終わりとは、次のはじまり。

「一流とは、何か？」「社会人とは、何か？」「プロフェッショナルとは、何か？」

もし、これらの問いに一言で答えるとするなら、私は「次のステージへの準備」と答えます。

勝負の前夜、幕が開く寸前に、「私たちはこれだけ完璧に『準備』を整えた！」と胸を張れるかどうか。つまるところ、そこに尽きると思うからです。

ところで、皆さんは、与謝蕪村の最期の句を知っていますか？

しら梅の明る夜ばかりとなりにけり

なんと見事な一句であることか！ 俳句なので、さまざまな解釈がありうるでしょうが、私には準備万端の「白梅」という役者が「夜明け」という本番を今か今かと心待ちにしているように見えてなりません。臨終の蕪村は、死ぬのではなく、人生まるごとを準備期間と見立て、新たな旅へと出立しようとしている！

皆さん、卒業までの5年あまり、大いに「準備」に励んでください。

ぜひ有意義な5年間に

国際ビジネス学科
1年担任
那須野育大

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。どのような学校生活を過ごすのか、期待に胸をときめかせていると思います。今のこの新鮮な気持ちを忘れず、本校でぜひ有意義な5年間を送ってください。

私が皆さんにお伝えしたいことは、2つあります。第1に、高専生活5年間の目標を見つけて、それを達成することです。勉強でも部活でも、何でもかまいません。目標達成に向けて、失敗を恐れず挑戦してください。「私は高専5年間で○○を達成した」という経験は、後の人生できっと大きな自信になるはずです。

第2に、「誠実・謙虚・努力」の3つの言葉です。何事に対しても真面目かつ素直に接することで、より多くを得ることができます。逆に言うと、不真面目な人に何か教えようという人はいません。そして、努力は嘘をつきません。1日10分の朝学習でも、5年間継続すれば大きな蓄積になります。前述の目標達成のために、「誠実・謙虚・努力」を心がけてください。

目に見えない成長

商船学科
1年担任
林直人

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。いよいよ高専生活がスタートします。

学業成績を始め、数値等で評価されることが多くあります。比較や良し悪しが客観的に分かりやすく、より高めよう伸ばそうと次の目標を定める際の指標となります。一方、こうした目に見える成長だけでなく、数値等では計れない成長が5年半、15歳から20歳の青年期で得ることができます。それは一生の財産となり、その後の人生を支えるものとなるでしょう。授業や学級活動、課外活動および寮生活など、成長の機会はあらゆるところにあります。慣れないこともあるでしょうが、日々全力で、たゆまぬ努力を重ね、自らを高めようとする志をもって生活していくことを応援しています。成し遂げたいことがあるから、その何かを見つけたいから高専へ一歩進んだことと思います。夢や目標を見失わず、仲間との交流や学問の追求といった楽しみを原動力に、日々歩み続けることを願っています。

射水キャンパス 学生主事・寮務主事からのメッセージ

Let's think！

射水キャンパス
学生主事
栂伸司

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。今、皆さんには、なぜ自分が高専を選び、これから何をするのか、決意を新たにしてほしいと思います。高校に進学した同級生たちは、大学を目指す人も多いでしょう。私は、大学入試の裏に、目標を設定し継続的に努力できるのか、という隠れた課題があると考えています。高校に進んだ同級生は、克己して目標に向かわなければなりません。これに対して、高専では早期の専門家教育を行う一方で、大学受験のない分、時間的な余裕が与えられています。これを有効に活用して自分の価値を高めることこそが、高専を選んだ優位点であると思います。専門的な教科の単位をとるという短期的な目標だけでなく、部活動で成果を出す、資格を取る、留学するなど、長期的な目標にも果敢に挑戦して、みなさん一人ひとりが高専バリュー、高専アドバンテージの体現者となってくれることを期待しています。

和海寮の諸君へ

射水キャンパス
寮務主事
楽山進

和海寮には男女合わせて50名の新入寮生がありました。多くの寮生にとって家庭では親任せだった「掃除」や「洗濯」から「起床・食事・入浴・就寝」などの時間や健康の管理に至るまでその多くは寮側に従い自分自身で行うことになります。「早くしなさい」「○○は済んだの？」という親切すぎる親の呪縛から解放されるのと引き替えに寮生活では多くの自己責任が発生してきます。

和海寮で生活するすべての諸君に第35代米国大統領ジョン・F・ケネディの言葉を贈ります。文中のcountry(国)をdormitory(寮)に置き換えて読んでみてください。

Ask not what your country can do for you; ask what you can do for your country.（国があなたのために何をしてくれるのかを問うのではなく、あなたが国のために何を成すことができるのかを問うて欲しい。）

新元号がスタートする2019年、和海寮の諸君全員が健康で安全にそして有意義な学寮生活を送ることができるよう期待しています。

本校の教育目標

1 「専門知識・技術を有し、将来、研究開発やビジネスをリードする能力を有した人材の育成」
高等専門学校の目的は「実践的・専門的な知識・技術を有する創造的な人材の育成」です。この目的に沿って、学生の一人ひとりの希望と社会のニーズに適合した人材、特に地域産業界において研究開発やビジネスをリードできる人材の育成に努めます。

2 「自ら考え、主張し、行動する主体性を有した人材の育成」
社会で専門知識・技術を活かすには、自分の考えを人に伝え、周囲の協力を得ながら行動することが重要です。そのため、まず自分の頭で考えることのできる創意工夫の態度を持った人材、さらに主体性を持って行動することのできる人材の育成に努めます。

3 「豊かな教養と倫理観を有し、他者や地球との共生の精神を有した人材の育成」
研究開発やビジネスをリードするには、技術やビジネスが社会や自然に及ぼす影響や効果を理解し、技術者やビジネスパーソンが社会に負っている責任について認識することが重要です。そのため、技術者倫理を尊重し、また自然や地球との共生の精神を持った人材の育成に努めます。

第1学年副担任
水本巌(電子)
河合均(国際)
笹谷敬二(商船)
第1学年代表
河合均

専攻科担当
的場隆一(制御)
長谷川博(国際)
河合雅司(海事)